

学校応援団だより

N08-5(250) 令和8年9月1日

地域の手ほどきで作る「竹ぽっくり、竹灯籠」 生福小学校



竹ぽっくりを作る子どもたちと地区の方々



完成した竹ぽっくりに乗る子どもたち



電動ドリルで穴をあける子どもたち



ボール盤で穴をあける子どもたち

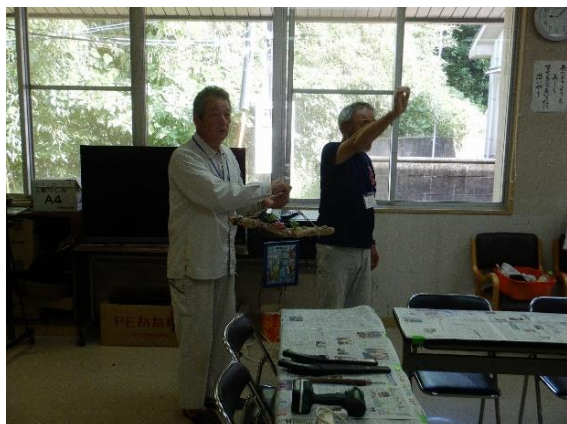
7月18日（土）、生福小学校で夏休み恒例の「キッズ・チャレンジ教室」が開催されました。

生福地区まちづくり協議会の方々の手ほどきを受け、1～3年生は竹ぽっくりを作りました。竹の両側に穴を開け、そこにヒモを通し、ヒモを手で持ち上げながら歩行します。4～6年生は竹灯籠を作りました。まず、トンボや花火の絵柄を竹の表面に貼り付け、電動ドリルやボール盤を使って穴を開けました。仕上げに、竹の表面の油分を取り除くため、バーナーで表面をあぶりました。普段は使わない電動工具を使った工作でしたが、子どもたちは、時間を忘れて穴開け作業に集中していました。

竹灯籠の中に明かりを入れて灯すと、幻想的なあかりが浮かび上がり、見事な作品に仕上がりました。

生福地区まちづくり協議会の方々は、電動工具は回転する機械で一つ間違えるとけがにつながることを子どもたちに教え、寄り添いながら、安全に作業をされました。

創造性が光る「流木アート」 旭小学校



流木アート作りを説明する芹ヶ野募さん



流木アートの材料を選ぶ子どもたち



貝殻やビーズを流木に接着する子どもたち



出来た作品を背景に集合写真

8月6日（木）、旭小学校で寺子屋活動の「流木アート作り」が開催されました。材料となる流木や貝殻は、事前に旭地区まちづくり協議会の方々が吹上浜や羽島海岸で拾い集めました。その中から扱いやすいものを選び、作品に使用しました。子どもたちは、地区の方々のアドバイスを受けながら、土台となる流木に材料を一つ一つ接着剤で貼り付け、作品を仕上げていきました。完成した「流木アート」は、どれも子どもたちの豊かな創造性が感じられるオリジナル作品となりました。旭地区の寺子屋活動には毎回多くの地区の方々が参加しており、学校と地域が連携した活動として、すっかり定着しています。

連絡先＝市来庁舎 3 階 市教育委員会 社会教育課
 (TEL 2 1－5 1 2 8) (FAX 3 6－5 0 4 4)／ご意見・ご質問・ご相談も下さい
 地域学校支援コーディネーター（有元 操・藤崎 裕史）

* 本応援団だよりは右の QR コードを読み取り、カラー版でご覧頂けます。また、市立図書館（本館）掲示板にも張り出してあります。

